

スパイラル編み

2012.3 XRQ TechLab



別掲のコード・ベルトと編み方は一緒ですが、一部を変更すると写真のようなおもしろい編み方になります。

コードアクセサリーとしていろいろ活用できそうです。

一本のコードを半分に折り、その2本をくるむように編み込んでいきます。

両端にはリングやバックルを取り付けます。

使用するコードの長さのおおよそ10分の1の長さになります。



① 用意するもの

リングまたはバックルなどの留め具 両端の処理に使います。

コード 細引きといわれるロープ。3mmφ程度が編み易いようです。

② リング・留め具への取り付け



コードを二つ折りにし、リングやバックルなどの留め具をひばり結びで取り付けます。

(右が二つ折りにしたところのリング)



その留め具からつくろうとするスパイラル編みの長さ分のところにもう一つの留め具を写真のように取り付けます。

③ 編み方



左に出ているコードを芯になる2本のコードの上を通し、輪を作ります。

右に出ているコードは芯になる2本のコードの下を通して輪の中から表に出します。



結び目ができるのですが、その間に芯になる2本のコードが入っています。

しっかりと結んで形を整えます。これで一段目ができました。



同じように左から出ているコードを芯になる2本の上を通して輪を作ります。

右に出ているコードを芯になる2本のコードの下を通して輪から表に出します。



この繰り返しで編み進めます。
コードベルトでは左右交互に輪を作ったのですが、このスパイラルでは一方だけで輪を作るので編み進めるうちに螺旋状になっていきます。

④ 末端の処理



一回ごとにしっかり結んでいるので、最後の処理もそのまま大丈夫です。飛び出している端が気になるようでしたら、短く切って接着剤で留めてください。